

鹿児島港本港区エリアまちづくりとの整合性について

鹿児島港本港区エリアのまちづくりについては、鹿児島市や経済界、都市計画の有識者等で構成する「鹿児島港本港区エリアまちづくり検討委員会」において検討を行い、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しています。

同グランドデザインの開発コンセプトでは、年間 365 日、賑わう拠点を形成することを目的としているところです。

<開発のコンセプト>

鹿児島港本港区エリアについて、

- ① かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点
- ② かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
- ③ 景観資源（錦江湾や桜島、歴史的建造物）を活かした魅力ある空間

を要素として、年間365日、国内外の幅広い観光客や県民で賑わい、国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」の形成を図る。

県では、グランドデザインの実現に向けて、民間活力を活かした宿泊機能や、飲食機能などを備えた集客施設等を整備しようと事業者公募に係る公募要項案を作成・公表していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済情勢の深刻化などから、公募の開始を延期しました。

新型コロナウイルスの影響が続く中で、県では、グランドデザインを踏まえ、本港区エリアにおいて地域が賑わう拠点を形成するためには、民間活力を活かした施設整備だけではなく、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて、改めて検討することとし、令和3年度においては、「コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査」を行っているところです。

このような中、検討委員会においては、スポーツ利用に加え、コンサート・イベント、コンベンション、展示会などに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととしました。

この考え方については、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致しています。

- ※ 鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインについては、[こちら](#)をご参照ください。
- ※ 新総合体育館と鹿児島港本港区エリアまちづくりとの整合性について詳細をお知りになりたい方は、次の検討委員会資料をご参照ください。

○第7回検討委員会